

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 兵庫県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ						
-	尼崎総合医療センター	2	西宮市	中央病院	20	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院日高医療センタ	38
-	西宮病院	3	芦屋市	芦屋病院	21	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院出石医療センタ	39
-	加古川医療センター	4	伊丹市	伊丹病院	22	公立豊岡病院組合	公立朝来医療センター	40
-	淡路医療センター	5	相生市	相生市民病院	23	公立八鹿病院組合	公立八鹿病院	41
-	ひょうごこころの医療センタ	6	赤穂市	赤穂市民病院	24	公立八鹿病院組合	公立村岡病院	42
-	丹波医療センター	7	西脇市	西脇病院	25	北播磨総合医療センター	北播磨総合医療センター	43
-	こども病院	8	宝塚市	市立病院	26			
-	がんセンター	9	高砂市	高砂市民病院	27			
-	姫路循環器病センター	10	川西市	川西病院	28			
-	粒子線医療センター	11	三田市	三田市民病院	29			
-	災害医療センター	12	加西市	加西病院	30			
-	リハビリテーション中央病院	13	宍粟市	公立宍粟総合病院	31			
-	リハビリテーション西播磨病 院	14	加東市	加東市民病院	32			
-	はりま姫路総合医療センター (仮称)整備事業	15	たつの市	市民病院	33			
-	県立西宮病院と市立西宮中央 病院との統合再編事業	16	神河町	公立神崎総合病院	34			
神戸市	中央市民病院	17	香美町	公立香住病院	35			
神戸市	西市民病院	18	新温泉町	浜坂病院	36			
明石市	市民病院	19	公立豊岡病院組合	公立豊岡病院	37			

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 尼崎総合医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	77,378 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	48	指定病院の状況	救臨が感災地特		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	714	79.6	93.4	95.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	8	56.3	74.1	70.5
感染症	8	60.9	63.5	66.3
計	730	79.2	92.9	94.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.4	9.6

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	39,022,918			
1 経常収益	38,422,416			
(1) 医業収益	29,628,905			
入院収益	20,007,302			
外来収益	8,693,681			
診療収入計	28,700,983			
その他医業収益	927,922			
(うち他会計負担金)	386,997			
(2) 医業外収益	8,793,511			
(うち国・都道府県補助金)	494,174			
(うち他会計補助・負担金)	6,887,039			
(うち長期前受金戻入)	1,114,925			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	600,502			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	37,654,349			
2 経常費用	36,411,793			
(1) 医業費用	34,773,294			
職員給与費	18,283,325	61.7	62.1	55.8
材料費	9,618,280	32.5	25.3	29.8
(うち薬品費)	4,287,597	14.5	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	5,180,035	17.5	11.4	13.0
減価償却費	2,294,424	7.7	9.5	8.7
経費	4,363,411	14.7	22.7	19.7
(うち委託料)	2,761,112	9.3	12.6	12.6
研究研修費	120,193			
資産減耗費	93,661			
(2) 医業外費用	1,638,499			
(うち支払利息)	175,136	0.6	1.3	1.2
(3) 特別損失	1,242,556			
損益				
経常損益	2,010,623			
純損益	1,368,569			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.5		101.9	102.5
医業収支比率	85.2		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	24.6		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	18.6		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	85.5		89.3	93.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.1
修正医業収益(千円)	29,241,908

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,892,534	7,274,036
資本勘定繰入	1,416,760	1,446,760
計	4,309,294	8,720,796

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 西宮病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,578 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	400	71.8	86.2	86.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	71.8	86.2	86.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	10.2	9.6

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.2
修正医業収益(千円)	9,855,844

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,723,072			
1 経常収益	12,473,986			
(1) 医業収益	10,285,438			
入院収益	6,947,328			
外来収益	2,696,589			
診療収入計	9,643,917			
その他医業収益	641,521			
(うち他会計負担金)	429,594			
(2) 医業外収益	2,188,548			
(うち国・都道府県補助金)	154,172			
(うち他会計補助・負担金)	1,606,298			
(うち長期前受金戻入)	354,633			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	249,086			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,521,107			
2 経常費用	12,788,510			
(1) 医業費用	12,294,575			
職員給与費	7,395,731	71.9	62.1	59.8
材料費	2,602,325	25.3	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,287,306	12.5	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,246,038	12.1	11.4	12.4
減価償却費	618,134	6.0	9.5	8.2
経費	1,634,220	15.9	22.7	19.2
(うち委託料)	932,755	9.1	12.6	10.2
研究研修費	35,689			
資産減耗費	8,476			
(2) 医業外費用	493,935			
(うち支払利息)	56,062	0.5	1.3	1.2
(3) 特別損失	732,597			
損益				
経常損益	-314,524			
純損益	-798,035			
累積欠損金	3,559,368			
経常収支比率	97.5		101.9	103.7
医業収支比率	83.7		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	16.3		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	19.8		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	16.0		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	81.6		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,165,618	2,035,892
資本勘定繰入	833,724	863,724
計	1,999,342	2,899,616

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 加古川医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	36,213 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	345	44.1	83.1	79.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	66.9	7.2	-
計	353	44.6	81.4	77.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	11.4	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.4
修正医業収益(千円)	7,675,833

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,006,189			
1 経常収益	14,781,930			
(1) 医業収益	8,038,198			
入院収益	4,389,861			
外来収益	3,145,962			
診療収入計	7,535,823			
その他医業収益	502,375			
(うち他会計負担金)	362,365			
(2) 医業外収益	6,743,732			
(うち国・都道府県補助金)	940,388			
(うち他会計補助・負担金)	5,157,260			
(うち長期前受金戻入)	574,426			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	224,259			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,631,390			
2 経常費用	13,189,676			
(1) 医業費用	12,308,601			
職員給与費	6,886,618	85.7	62.1	63.5
材料費	2,478,538	30.8	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,318,557	16.4	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,117,725	13.9	11.4	11.8
減価償却費	1,038,620	12.9	9.5	10.0
経費	1,818,751	22.6	22.7	21.7
(うち委託料)	1,258,875	15.7	12.6	12.2
研究研修費	24,208			
資産減耗費	61,866			
(2) 医業外費用	881,075			
(うち支払利息)	225,305	2.8	1.3	1.4
(3) 特別損失	441,714			
損益				
経常損益	1,592,254			
純損益	1,374,799			
累積欠損金	9,343,502			
経常収支比率	112.1		101.9	101.7
医業収支比率	65.3		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	37.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	68.7		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	36.8		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	70.2		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,334,709	5,519,625
資本勘定繰入	2,127,827	2,157,827
計	3,462,536	7,677,452

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 淡路医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	35,005 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	377	75.2	88.9	89.8
療養	-	-	-	-
結核	15	33.3	15.6	21.1
精神	45	47.8	59.3	64.8
感染症	4	29.4	2.3	-
計	441	70.6	82.6	84.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	12.7	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,418,218			
1 経常収益	15,029,528			
(1) 医業収益	11,691,656			
入院収益	8,339,522			
外来収益	2,786,464			
診療収入計	11,125,986			
その他医業収益	565,670			
(うち他会計負担金)	384,773			
(2) 医業外収益	3,337,872			
(うち国・都道府県補助金)	164,746			
(うち他会計補助・負担金)	2,578,753			
(うち長期前受金戻入)	511,526			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	388,690			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,982,860			
2 経常費用	14,712,338			
(1) 医業費用	13,924,597			
職員給与費	7,598,145	65.0	62.1	59.8
材料費	3,310,412	28.3	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,180,700	10.1	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,112,205	18.1	11.4	12.4
減価償却費	812,013	6.9	9.5	8.2
経費	2,053,189	17.6	22.7	19.2
(うち委託料)	1,242,810	10.6	12.6	10.2
研究研修費	26,838			
資産減耗費	124,000			
(2) 医業外費用	787,741			
(うち支払利息)	173,434	1.5	1.3	1.2
(3) 特別損失	1,270,522			
損益				
経常損益	317,190			
純損益	-564,642			
累積欠損金	2,485,781			
経常収支比率	102.2		101.9	103.7
医業収支比率	84.0		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	19.7		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	25.3		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	19.2		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	82.0		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.2
修正医業収益(千円)	11,306,883

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,692,341	2,963,526
資本勘定繰入	911,474	941,474
計	2,603,815	3,905,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名	ひょうごこころの医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,805 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	6	指定病院の状況	臨 輪		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	478	23.9	39.1	43.4
感染症	-	-	-	-
計	478	23.9	39.1	43.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,933,032			
1 経常収益	3,879,280			
(1) 医業収益	1,692,355			
入院収益	981,738			
外来収益	345,556			
診療収入計	1,327,294			
その他医業収益	365,061			
(うち他会計負担金)	353,822			
(2) 医業外収益	2,186,925			
(うち国・都道府県補助金)	108,608			
(うち他会計補助・負担金)	1,847,539			
(うち長期前受金戻入)	210,282			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	53,752			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,724,456			
2 経常費用	4,135,245			
(1) 医業費用	3,967,939			
職員給与費	3,033,751	179.3	62.1	104.8
材料費	139,528	8.2	25.3	8.7
(うち薬品費)	69,472	4.1	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,182	2.0	11.4	1.3
減価償却費	242,486	14.3	9.5	13.5
経費	522,152	30.9	22.7	33.3
(うち委託料)	265,552	15.7	12.6	18.6
研究研修費	10,030			
資産減耗費	19,992			
(2) 医業外費用	167,306			
(うち支払利息)	86,567	5.1	1.3	2.7
(3) 特別損失	589,211			
損益				
経常損益	-255,965			
純損益	-791,424			
累積欠損金	12,738,317			
経常収支比率	93.8		101.9	101.4
医業収支比率	42.7		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	56.7		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	130.1		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	56.0		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	40.6		89.3	66.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	33.7
修正医業収益(千円)	1,338,533

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,595,688	2,201,361
資本勘定繰入	544,658	781,658
計	2,140,346	2,983,019

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名		丹波医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,679 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	316	63.2	61.2	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	49.7	5.0	-
計	320	63.0	60.6	-
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	11.9	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,358,401			
1 経常収益	9,173,475			
(1) 医業収益	6,611,111			
入院収益	4,148,672			
外来収益	1,791,182			
診療収入計	5,939,854			
その他医業収益	671,257			
(うち他会計負担金)	331,345			
(2) 医業外収益	2,562,364			
(うち国・都道府県補助金)	136,652			
(うち他会計補助・負担金)	1,454,721			
(うち長期前受金戻入)	815,961			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	184,926			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,967,956			
2 経常費用	9,637,723			
(1) 医業費用	9,051,592			
職員給与費	4,917,890	74.4	62.1	63.5
材料費	1,256,108	19.0	25.3	24.9
(うち薬品費)	541,400	8.2	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	699,572	10.6	11.4	11.8
減価償却費	1,075,953	16.3	9.5	10.0
経費	1,776,968	26.9	22.7	21.7
(うち委託料)	1,332,419	20.2	12.6	12.2
研究研修費	16,997			
資産減耗費	7,676			
(2) 医業外費用	586,131			
(うち支払利息)	45,002	0.7	1.3	1.4
(3) 特別損失	1,330,233			
損益				
経常損益	-464,248			
純損益	-1,609,555			
累積欠損金	12,604,569			
経常収支比率	95.2		101.9	101.7
医業収支比率	73.0		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	19.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	27.0		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	19.1		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	76.7		89.3	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.4
修正医業収益(千円)	6,279,766

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,035,703	1,786,066
資本勘定繰入	688,605	718,605
計	1,724,308	2,504,671

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	41,324 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	290	76.1	82.2	75.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	290	76.1	82.2	75.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	11.9	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.5
修正医業収益(千円)	10,034,472

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,615,460			
1 経常収益	13,490,941			
(1) 医業収益	10,429,318			
入院収益	8,135,779			
外来収益	1,763,450			
診療収入計	9,899,229			
その他医業収益	530,089			
(うち他会計負担金)	394,846			
(2) 医業外収益	3,061,623			
(うち国・都道府県補助金)	127,348			
(うち他会計補助・負担金)	2,211,692			
(うち長期前受金戻入)	662,619			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	124,519			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,281,873			
2 経常費用	13,869,394			
(1) 医業費用	13,289,861			
職員給与費	8,011,657	76.8	62.1	66.1
材料費	2,074,846	19.9	25.3	19.8
(うち薬品費)	979,369	9.4	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,031,741	9.9	11.4	9.3
減価償却費	1,194,833	11.5	9.5	10.2
経費	1,956,833	18.8	22.7	28.2
(うち委託料)	1,047,690	10.0	12.6	13.6
研究研修費	34,151			
資産減耗費	17,541			
(2) 医業外費用	579,533			
(うち支払利息)	135,525	1.3	1.3	1.6
(3) 特別損失	412,479			
損益				
経常損益	-378,453			
純損益	-666,413			
累積欠損金	10,344,638			
経常収支比率	97.3		101.9	99.9
医業収支比率	78.5		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	25.0		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	19.1		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	78.5		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,358,991	2,606,538
資本勘定繰入	1,271,724	1,301,724
計	3,630,715	3,908,262

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名 がんセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,820 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	臨が 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	400	66.1	68.5	71.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	66.1	68.5	71.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.6	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.7
修正医業収益(千円)	16,135,060

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,810,995			
1 経常収益	17,740,323			
(1) 医業収益	16,135,250			
入院収益	6,984,378			
外来収益	8,741,271			
診療収入計	15,725,649			
その他医業収益	409,601			
(うち他会計負担金)	190			
(2) 医業外収益	1,605,073			
(うち国・都道府県補助金)	79,191			
(うち他会計補助・負担金)	952,392			
(うち長期前受金戻入)	473,004			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	70,672			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,501,957			
2 経常費用	18,235,233			
(1) 医業費用	17,228,733			
職員給与費	6,958,584	43.1	62.1	59.8
材料費	7,531,426	46.7	25.3	27.7
(うち薬品費)	5,984,558	37.1	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,480,762	9.2	11.4	12.4
減価償却費	818,580	5.1	9.5	8.2
経費	1,788,054	11.1	22.7	19.2
(うち委託料)	1,174,314	7.3	12.6	10.2
研究研修費	82,827			
資産減耗費	49,262			
(2) 医業外費用	1,006,500			
(うち支払利息)	25,014	0.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	1,266,724			
損益				
経常損益	-494,910			
純損益	-1,690,962			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.3		101.9	103.7
医業収支比率	93.7		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	5.4		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	5.9		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	5.3		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	92.1		89.3	93.1

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	906,726	952,582
資本勘定繰入	601,368	631,368
計	1,508,094	1,583,950

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
姫路循環器病センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,619 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	330	63.3	69.5	70.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	330	63.3	69.5	70.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	14.0	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.6
修正医業収益(千円)	10,933,939

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,442,764			
1 経常収益	13,251,577			
(1) 医業収益	11,296,225			
入院収益	8,530,510			
外来収益	2,238,494			
診療収入計	10,769,004			
その他医業収益	527,221			
(うち他会計負担金)	362,286			
(2) 医業外収益	1,955,352			
(うち国・都道府県補助金)	51,556			
(うち他会計補助・負担金)	1,500,525			
(うち長期前受金戻入)	325,838			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	191,187			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,361,623			
2 経常費用	13,439,845			
(1) 医業費用	12,768,820			
職員給与費	6,121,448	54.2	62.1	63.5
材料費	4,665,717	41.3	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,113,565	9.9	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,501,546	31.0	11.4	11.8
減価償却費	543,077	4.8	9.5	10.0
経費	1,377,345	12.2	22.7	21.7
(うち委託料)	801,283	7.1	12.6	12.2
研究研修費	44,983			
資産減耗費	16,250			
(2) 医業外費用	671,025			
(うち支払利息)	12,413	0.1	1.3	1.4
(3) 特別損失	921,778			
損益				
経常損益	-188,268			
純損益	-918,859			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.6		101.9	101.7
医業収支比率	88.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	14.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	16.5		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	13.9		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	84.7		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,257,448	1,862,811
資本勘定繰入	648,681	678,681
計	1,906,129	2,541,492

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名	粒子線医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	22,541 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	50.3	57.3	76.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	50.3	57.3	76.3
平均在院日数(一般病床のみ)		36.6	30.6	34.9

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	44.6
修正医業収益(千円)	1,417,225

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,589,146			
1 経常収益	2,561,379			
(1) 医業収益	1,417,225			
入院収益	641,783			
外来収益	737,526			
診療収入計	1,379,309			
その他医業収益	37,916			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,144,154			
(うち国・都道府県補助金)	629			
(うち他会計補助・負担金)	567,528			
(うち長期前受金戻入)	559,507			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	27,767			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,839,876			
2 経常費用	3,693,115			
(1) 医業費用	3,179,063			
職員給与費	906,813	64.0	62.1	78.9
材料費	73,342	5.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	29,752	2.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	43,558	3.1	11.4	6.0
減価償却費	855,315	60.4	9.5	11.7
経費	1,336,760	94.3	22.7	31.2
(うち委託料)	964,177	68.0	12.6	14.3
研究研修費	2,740			
資産減耗費	4,093			
(2) 医業外費用	514,052			
(うち支払利息)	254,708	18.0	1.3	1.7
(3) 特別損失	146,761			
損益				
経常損益	-1,131,736			
純損益	-1,250,730			
累積欠損金	6,456,736			
経常収支比率	69.4		101.9	100.3
医業収支比率	44.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	22.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	40.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	21.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	54.0		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	560,654	567,528
資本勘定繰入	1,327,362	1,327,362
計	1,888,016	1,894,890

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名	災害医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	6,313 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	11	指定病院の状況	救臨感		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	30	80.7	83.2	80.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	80.7	83.2	80.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.4	10.4

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	932,919			
1 経常収益	932,848			
(1) 医業収益	336,338			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	336,338			
(うち他会計負担金)	336,338			
(2) 医業外収益	596,510			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	436,327			
(うち長期前受金戻入)	159,948			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	71			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	932,919			
2 経常費用	932,848			
(1) 医業費用	829,491			
職員給与費	45,000	13.4	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	144,780	43.0	9.5	13.0
経費	638,751	189.9	22.7	47.1
(うち委託料)	638,076	189.7	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	960			
(2) 医業外費用	103,357			
(うち支払利息)	25,347	7.5	1.3	1.3
(3) 特別損失	71			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	98.5
医業収支比率	40.5		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	82.8		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	229.7		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	82.8		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	17.2		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	768,236	772,665
資本勘定繰入	212,473	212,473
計	980,709	985,138

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名					
リハビリテーション中央病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,570 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	520	43.6	52.2	82.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	520	43.6	52.2	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		70.5	70.5	70.5

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	773,391			
1 経常収益	764,381			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	764,381			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	340,947			
(うち長期前受金戻入)	418,714			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,010			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	773,391			
2 経常費用	764,381			
(1) 医業費用	668,795			
職員給与費	21,600	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	397,303	-	9.5	8.7
経費	245,547	-	22.7	19.7
(うち委託料)	245,547	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	4,345			
(2) 医業外費用	95,586			
(うち支払利息)	26,436	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	9,010			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	44.6		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	44.1		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	55.4		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	299,613	340,947
資本勘定繰入	427,886	427,886
計	727,499	768,833

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名					
病院名	リハビリテーション西播磨病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	9,948 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	10	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	86.7	95.2	94.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	86.7	95.2	94.9
平均在院日数(一般病床のみ)		86.7	86.7	86.7

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	399,536			
1 経常収益	395,448			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	395,448			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	161,168			
(うち長期前受金戻入)	233,675			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,088			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	399,536			
2 経常費用	395,448			
(1) 医業費用	348,801			
職員給与費	11,099	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	223,146	-	9.5	10.7
経費	113,935	-	22.7	29.2
(うち委託料)	113,935	-	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	621			
(2) 医業外費用	46,647			
(うち支払利息)	18,405	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	4,088			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	40.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	40.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	59.2		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	144,884	161,168
資本勘定繰入	237,762	237,762
計	382,646	398,930

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名			
病院名	はりま姫路総合医療センター(仮称)整備事業		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	-
材料費	-	-	25.3	-
(うち薬品費)	-	-	13.5	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	-
減価償却費	-	-	9.5	-
経費	-	-	22.7	-
(うち委託料)	-	-	12.6	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.3	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		101.9	-
医業収支比率	-		83.2	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	-
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	-
実質収益対経常費用比率	-		89.3	-

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	1,222,595	1,222,595
計	1,222,595	1,222,595

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			兵庫県
市町村・組合名			
病院名	県立西宮病院と市立西宮中央病院との統合再編事業		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	否
DPC対象病院	-	経営形態	-
		類似区分	建設中

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	5,465,002	
決算規模(千円)	2,607,434,131	
標準財政規模(千円)	1,071,498,107	
財政力指数	0.64914	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.7
	将来負担比率(%)	337.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	-
材料費	-	-	25.3	-
(うち薬品費)	-	-	13.5	-
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	-
減価償却費	-	-	9.5	-
経費	-	-	22.7	-
(うち委託料)	-	-	12.6	-
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.3	-
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		101.9	-
医業収支比率	-		83.2	-
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	-
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	-
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	-
実質収益対経常費用比率	-		89.3	-

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	199,008,129
1 固定資産	164,830,365
(1) 有形固定資産	153,317,913
(2) 無形固定資産	115,458
(3) 投資その他の資産	11,396,994
2 流動資産	34,177,764
(1) 現金及び預金	3,934,350
(2) 未収金及び未収収益	29,769,882
(3) 貸倒引当金()	141,999
(4) 貯蔵品	454,775
3 繰延資産	-
負債合計	205,524,878
1 固定負債	142,222,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	123,309,370
(2) その他の企業債	291,060
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,621,841
(7) リース債務	-
2 流動負債	38,274,337
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,685,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,625,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,280,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	25,028,270
(1) 長期前受金	25,028,270
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-6,516,749
1 資本金	22,151,464
2 剰余金	-28,668,213
(1) 資本金剰余金	6,114,303
(2) 利益剰余金	-34,782,516
負債・資本合計	199,008,129
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	6,516,749
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	16	16
計	16	16

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	神戸市		
病院名	中央市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,525,152	
決算規模(千円)	1,043,420,498	
標準財政規模(千円)	443,142,773	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	99.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	61.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	-		89.3	93.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	神戸市		
病院名	西市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,525,152	
決算規模(千円)	1,043,420,498	
標準財政規模(千円)	443,142,773	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	99.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	61.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	-	-	9.5	10.0
経費	-	-	22.7	21.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		101.9	101.7
医業収支比率	-		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	-		89.3	90.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	明石市		
病院名	市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	303,601	
決算規模(千円)	145,288,790	
標準財政規模(千円)	62,890,264	
財政力指数	0.78	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.4
	将来負担比率(%)	25.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,471			
1 経常収益	7,471			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	7,471			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,471			
2 経常費用	7,471			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	-	-	9.5	10.0
経費	-	-	22.7	21.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	7,471			
(うち支払利息)	7,471	-	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	101.7
医業収支比率	-		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	西宮市				
病院名	中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,375 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	257	43.7	49.0	50.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	257	43.7	49.0	50.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	11.6	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	485,587	
決算規模(千円)	234,278,623	
標準財政規模(千円)	97,788,142	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.1
	将来負担比率(%)	6.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,987,691			
1 経常収益	5,861,228			
(1) 医業収益	4,171,472			
入院収益	2,301,259			
外来収益	1,388,495			
診療収入計	3,689,754			
その他医業収益	481,718			
(うち他会計負担金)	265,891			
(2) 医業外収益	1,689,756			
(うち国・都道府県補助金)	1,104,695			
(うち他会計補助・負担金)	550,474			
(うち長期前受金戻入)	7,658			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	126,463			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,346,212			
2 経常費用	6,205,953			
(1) 医業費用	5,960,456			
職員給与費	3,189,892	76.5	62.1	66.1
材料費	1,081,587	25.9	25.3	19.8
(うち薬品費)	645,021	15.5	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	432,034	10.4	11.4	9.3
減価償却費	429,226	10.3	9.5	10.2
経費	1,227,158	29.4	22.7	28.2
(うち委託料)	639,890	15.3	12.6	13.6
研究研修費	20,621			
資産減耗費	11,972			
(2) 医業外費用	245,497			
(うち支払利息)	4,447	0.1	1.3	1.6
(3) 特別損失	140,259			
損益				
経常損益	-344,725			
純損益	-358,521			
累積欠損金	16,360,676			
経常収支比率	94.4		101.9	99.9
医業収支比率	70.0		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	13.9		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	19.6		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	13.6		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	81.3		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,644,956
1 固定資産	4,933,308
(1) 有形固定資産	4,808,843
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	124,465
2 流動資産	1,711,648
(1) 現金及び預金	567,142
(2) 未収金及び未収収益	1,127,290
(3) 貸倒引当金()	921
(4) 貯蔵品	18,129
3 繰延資産	-
負債合計	7,944,456
1 固定負債	5,412,829
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	934,564
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,507,956
(6) 引当金	970,309
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,271,565
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	644,246
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	6,750
(5) 引当金	157,557
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,239,684
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	260,062
(1) 長期前受金	613,868
(2) 長期前受金収益化累計額()	353,806
資本合計	-1,299,500
1 資本金	14,185,576
2 剰余金	-15,485,076
(1) 資本金剰余金	875,600
(2) 利益剰余金	-16,360,676
負債・資本合計	6,644,956
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	1,299,500
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,039,438
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	65.5
修正医業収益(千円)	3,905,581

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	806,754	816,365
資本勘定繰入	385,809	639,778
計	1,192,563	1,456,143

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	64,805	1.4
平成30年度	176,770	3.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	392.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				兵庫県
市町村・組合名	芦屋市			
病院名	芦屋病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	17,045 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	199	75.5	87.2	90.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	75.5	87.2	90.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	13.1	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	93,922	
決算規模(千円)	54,912,496	
標準財政規模(千円)	24,021,604	
財政力指数	1.02	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	97.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,766,432			
1 経常収益	5,663,332			
(1) 医業収益	4,470,985			
入院収益	2,785,338			
外来収益	1,070,197			
診療収入計	3,855,535			
その他医業収益	615,450			
(うち他会計負担金)	273,427			
(2) 医業外収益	1,192,347			
(うち国・都道府県補助金)	693,490			
(うち他会計補助・負担金)	432,038			
(うち長期前受金戻入)	1,092			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	103,100			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,454,053			
2 経常費用	5,334,753			
(1) 医業費用	5,087,972			
職員給与費	3,090,870	69.1	62.1	67.4
材料費	805,841	18.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	452,862	10.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	318,268	7.1	11.4	8.8
減価償却費	399,273	8.9	9.5	10.7
経費	779,815	17.4	22.7	29.2
(うち委託料)	561,194	12.6	12.6	13.9
研究研修費	5,882			
資産減耗費	6,291			
(2) 医業外費用	246,781			
(うち支払利息)	90,019	2.0	1.3	1.5
(3) 特別損失	119,300			
損益				
経常損益	328,579			
純損益	312,379			
累積欠損金	11,904,521			
経常収支比率	106.2		101.9	100.3
医業収支比率	87.9		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.2		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	92.9		89.3	84.8

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,899,648
1 固定資産	4,673,353
(1) 有形固定資産	4,615,817
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	57,536
2 流動資産	1,226,295
(1) 現金及び預金	525,533
(2) 未収金及び未収収益	710,292
(3) 貸倒引当金()	9,559
(4) 貯蔵品	29
3 繰延資産	-
負債合計	9,940,093
1 固定負債	8,477,518
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,619,327
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,996,010
(6) 引当金	862,181
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,391,419
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	417,134
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	395,400
(5) 引当金	184,995
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	369,857
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	71,156
(1) 長期前受金	108,090
(2) 長期前受金収益化累計額()	36,934
資本合計	-4,040,445
1 資本金	7,849,276
2 剰余金	-11,889,721
(1) 資本金剰余金	14,800
(2) 利益剰余金	-11,904,521
負債・資本合計	5,899,648
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	4,040,445
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,969,289
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.5
修正医業収益(千円)	4,197,558

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	570,034	705,465
資本勘定繰入	178,704	179,764
計	748,738	885,229

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	266.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				兵庫県
市町村・組合名	伊丹市			
病院名	伊丹病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	29,295 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	31	指定病院の状況	救臨が地	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	400床以上~500床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	414	71.1	80.6	85.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	414	71.1	80.6	85.5
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.2	11.0

設立団体の状況		
人口(人)	198,138	
決算規模(千円)	102,532,971	
標準財政規模(千円)	42,999,931	
財政力指数	0.83	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.5
修正医業収益(千円)	11,083,671

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,961,459			
1 経常収益	13,749,801			
(1) 医業収益	11,384,478			
入院収益	7,303,767			
外来収益	3,508,533			
診療収入計	10,812,300			
その他医業収益	572,178			
(うち他会計負担金)	300,807			
(2) 医業外収益	2,365,323			
(うち国・都道府県補助金)	1,407,740			
(うち他会計補助・負担金)	510,907			
(うち長期前受金戻入)	312,041			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	211,658			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,995,855			
2 経常費用	12,784,197			
(1) 医業費用	12,250,115			
職員給与費	6,100,243	53.6	62.1	59.8
材料費	3,342,488	29.4	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,533,493	13.5	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,749,577	15.4	11.4	12.4
減価償却費	564,455	5.0	9.5	8.2
経費	2,210,434	19.4	22.7	19.2
(うち委託料)	1,051,953	9.2	12.6	10.2
研究研修費	28,207			
資産減耗費	4,287			
(2) 医業外費用	534,082			
(うち支払利息)	2,901	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	211,658			
損益				
経常損益	965,604			
純損益	965,604			
累積欠損金	4,193,093			
経常収支比率	107.6		101.9	103.7
医業収支比率	92.9		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	5.9		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	7.1		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	5.8		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	101.2		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,482,449
1 固定資産	8,171,784
(1) 有形固定資産	7,867,421
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	304,363
2 流動資産	4,310,665
(1) 現金及び預金	2,363,108
(2) 未収金及び未収収益	1,930,697
(3) 貸倒引当金()	6,340
(4) 貯蔵品	23,200
3 繰延資産	-
負債合計	8,374,769
1 固定負債	4,104,879
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,656,584
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	40,000
(6) 引当金	2,399,611
(7) リース債務	8,684
2 流動負債	2,685,458
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	504,701
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	40,000
(5) 引当金	378,185
(6) リース債務	4,679
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,700,758
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,584,432
(1) 長期前受金	9,892,752
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,308,320
資本合計	4,107,680
1 資本金	3,237,565
2 剰余金	870,115
(1) 資本金剰余金	5,063,208
(2) 利益剰余金	-4,193,093
負債・資本合計	12,482,449
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	811,714	811,714
資本勘定繰入	244,779	250,851
計	1,056,493	1,062,565

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	36.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	相生市				
病院名	相生市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,424 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	55	49.6	43.8	41.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	49.6	43.8	41.3
平均在院日数(一般病床のみ)		22.6	18.1	18.9

設立団体の状況		
人口(人)	28,355	
決算規模(千円)	16,138,342	
標準財政規模(千円)	8,312,239	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	99.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	82.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.1
修正医業収益(千円)	609,319

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	705,220			
1 経常収益	701,370			
(1) 医業収益	614,407			
入院収益	337,784			
外来収益	240,430			
診療収入計	578,214			
その他医業収益	36,193			
(うち他会計負担金)	5,088			
(2) 医業外収益	86,963			
(うち国・都道府県補助金)	6,188			
(うち他会計補助・負担金)	54,219			
(うち長期前受金戻入)	18,855			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,850			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	680,894			
2 経常費用	676,844			
(1) 医業費用	647,345			
職員給与費	299,164	48.7	62.1	78.9
材料費	161,332	26.3	25.3	15.6
(うち薬品費)	142,141	23.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,191	3.1	11.4	6.0
減価償却費	30,529	5.0	9.5	11.7
経費	155,667	25.3	22.7	31.2
(うち委託料)	75,353	12.3	12.6	14.3
研究研修費	318			
資産減耗費	335			
(2) 医業外費用	29,499			
(うち支払利息)	99	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	4,050			
損益				
経常損益	24,526			
純損益	24,326			
累積欠損金	504,550			
経常収支比率	103.6		101.9	100.3
医業収支比率	94.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	94.9		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	462,848
1 固定資産	290,267
(1) 有形固定資産	290,222
(2) 無形固定資産	30
(3) 投資その他の資産	15
2 流動資産	172,581
(1) 現金及び預金	75,057
(2) 未収金及び未収収益	89,711
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,812
3 繰延資産	-
負債合計	333,391
1 固定負債	39,156
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	32,013
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	7,143
(7) リース債務	-
2 流動負債	100,939
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,765
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,600
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	63,574
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	193,296
(1) 長期前受金	832,530
(2) 長期前受金収益化累計額()	639,234
資本合計	129,457
1 資本金	256,055
2 剰余金	-126,598
(1) 資本金剰余金	377,952
(2) 利益剰余金	-504,550
負債・資本合計	462,848
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	59,307	59,307
資本勘定繰入	6,452	19,352
計	65,759	78,659

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	82.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	赤穂市				
病院名	赤穂市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	32,911 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業	許可	看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	356	67.3	70.1	59.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	36.4	0.8	-
計	360	66.9	69.3	58.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	15.7	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	45,892	
決算規模(千円)	25,344,204	
標準財政規模(千円)	12,831,591	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	81.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	110.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.7
修正医業収益(千円)	7,472,088

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,227,826			
1 経常収益	8,061,968			
(1) 医業収益	7,547,126			
入院収益	4,940,914			
外来収益	2,198,268			
診療収入計	7,139,182			
その他医業収益	407,944			
(うち他会計負担金)	75,038			
(2) 医業外収益	514,842			
(うち国・都道府県補助金)	115,742			
(うち他会計補助・負担金)	346,975			
(うち長期前受金戻入)	12,164			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	165,858			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,262,968			
2 経常費用	9,093,969			
(1) 医業費用	8,524,239			
職員給与費	4,117,492	54.6	62.1	63.5
材料費	1,900,416	25.2	25.3	24.9
(うち薬品費)	684,117	9.1	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,153,333	15.3	11.4	11.8
減価償却費	633,176	8.4	9.5	10.0
経費	1,853,788	24.6	22.7	21.7
(うち委託料)	866,621	11.5	12.6	12.2
研究研修費	14,293			
資産減耗費	5,074			
(2) 医業外費用	569,730			
(うち支払利息)	121,277	1.6	1.3	1.4
(3) 特別損失	168,999			
損益				
経常損益	-1,032,001			
純損益	-1,035,142			
累積欠損金	6,775,320			
経常収支比率	88.7		101.9	101.7
医業収支比率	88.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	5.1		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	84.0		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,885,149
1 固定資産	11,855,965
(1) 有形固定資産	11,460,022
(2) 無形固定資産	2,160
(3) 投資その他の資産	393,783
2 流動資産	2,029,184
(1) 現金及び預金	676,520
(2) 未収金及び未収収益	1,331,968
(3) 貸倒引当金()	6,259
(4) 貯蔵品	25,120
3 繰延資産	-
負債合計	13,020,541
1 固定負債	8,679,055
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,118,149
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	400,000
(6) 引当金	1,119,866
(7) リース債務	41,040
2 流動負債	4,070,526
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,193,974
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	276,830
(6) リース債務	13,680
(7) 一時借入金	2,000,000
(8) 未払金及び未払費用	542,053
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	270,960
(1) 長期前受金	616,468
(2) 長期前受金収益化累計額()	345,508
資本合計	864,608
1 資本金	7,612,310
2 剰余金	-6,747,702
(1) 資本金剰余金	27,618
(2) 利益剰余金	-6,775,320
負債・資本合計	13,885,149
不良債務	847,368
実質資金不足額	847,368
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	486,727	422,013
資本勘定繰入	648,274	544,606
計	1,135,001	966,619

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	847,368	11.2
令和元年度	139,252	1.8
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	89.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	847,368
地財法上の資金不足比率(%)	11.2

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	西脇市				
病院名	西脇病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,674 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	320	89.6	91.3	93.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	89.6	91.3	93.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	16.9	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	38,673	
決算規模(千円)	30,945,082	
標準財政規模(千円)	11,872,415	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	20.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.9
修正医業収益(千円)	7,169,287

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,805,161			
1 経常収益	8,656,101			
(1) 医業収益	7,305,645			
入院収益	5,363,053			
外来収益	1,608,731			
診療収入計	6,971,784			
その他医業収益	333,861			
(うち他会計負担金)	136,358			
(2) 医業外収益	1,350,456			
(うち国・都道府県補助金)	403,821			
(うち他会計補助・負担金)	465,182			
(うち長期前受金戻入)	425,095			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	149,060			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,799,540			
2 経常費用	8,643,551			
(1) 医業費用	8,439,875			
職員給与費	4,336,714	59.4	62.1	63.5
材料費	1,673,134	22.9	25.3	24.9
(うち薬品費)	726,498	9.9	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	946,636	13.0	11.4	11.8
減価償却費	698,539	9.6	9.5	10.0
経費	1,693,773	23.2	22.7	21.7
(うち委託料)	867,698	11.9	12.6	12.2
研究研修費	29,879			
資産減耗費	7,836			
(2) 医業外費用	203,676			
(うち支払利息)	149,283	2.0	1.3	1.4
(3) 特別損失	155,989			
損益				
経常損益	12,550			
純損益	5,621			
累積欠損金	2,003,944			
経常収支比率	100.1		101.9	101.7
医業収支比率	86.6		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.2		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	6.8		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	93.2		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,292,628
1 固定資産	8,394,041
(1) 有形固定資産	8,059,552
(2) 無形固定資産	3,859
(3) 投資その他の資産	330,630
2 流動資産	2,898,587
(1) 現金及び預金	1,484,016
(2) 未収金及び未収収益	1,372,647
(3) 貸倒引当金()	1,451
(4) 貯蔵品	42,655
3 繰延資産	-
負債合計	11,005,313
1 固定負債	9,413,599
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,480,127
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,933,420
(7) リース債務	52
2 流動負債	1,405,845
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	683,378
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	196,218
(6) リース債務	620
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	420,830
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	185,869
(1) 長期前受金	3,834,601
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,648,732
資本合計	287,315
1 資本金	1,163,767
2 剰余金	-876,452
(1) 資本金剰余金	1,127,492
(2) 利益剰余金	-2,003,944
負債・資本合計	11,292,628
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	822,570	601,540
資本勘定繰入	398,460	398,460
計	1,221,030	1,000,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	宝塚市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,903 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	436	68.0	78.0	74.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	436	68.0	78.0	74.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	10.6	11.2

設立団体の状況		
人口(人)	226,432	
決算規模(千円)	102,443,168	
標準財政規模(千円)	45,282,358	
財政力指数	0.88	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.7
	将来負担比率(%)	18.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.6
修正医業収益(千円)	10,232,030

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,042,262			
1 経常収益	12,243,327			
(1) 医業収益	10,654,441			
入院収益	6,434,422			
外来収益	3,652,828			
診療収入計	10,087,250			
その他医業収益	567,191			
(うち他会計負担金)	422,411			
(2) 医業外収益	1,588,886			
(うち国・都道府県補助金)	508,190			
(うち他会計補助・負担金)	549,413			
(うち長期前受金戻入)	22,635			
(うち資本費繰入収益)	380,979			
(3) 特別利益	798,935			
(うち他会計繰入金)	106,910			
総費用	12,882,197			
2 経常費用	12,643,812			
(1) 医業費用	12,091,543			
職員給与費	6,384,168	59.9	62.1	59.8
材料費	2,655,983	24.9	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,548,228	14.5	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,107,755	10.4	11.4	12.4
減価償却費	723,320	6.8	9.5	8.2
経費	2,290,146	21.5	22.7	19.2
(うち委託料)	1,178,576	11.1	12.6	10.2
研究研修費	18,887			
資産減耗費	19,039			
(2) 医業外費用	552,269			
(うち支払利息)	67,729	0.6	1.3	1.2
(3) 特別損失	238,385			
損益				
経常損益	-400,485			
純損益	160,065			
累積欠損金	-			
経常収支比率	96.8		101.9	103.7
医業収支比率	88.1		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	89.1		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,602,970
1 固定資産	13,348,249
(1) 有形固定資産	11,452,485
(2) 無形固定資産	2,055
(3) 投資その他の資産	1,893,709
2 流動資産	2,254,721
(1) 現金及び預金	283,265
(2) 未収金及び未収収益	1,836,954
(3) 貸倒引当金()	2,051
(4) 貯蔵品	132,408
3 繰延資産	-
負債合計	11,899,241
1 固定負債	7,624,709
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,804,074
(2) その他の企業債	27,900
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,660,000
(6) 引当金	132,735
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,994,526
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	834,532
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	300,000
(5) 引当金	458,669
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,100,000
(8) 未払金及び未払費用	1,184,253
(9) 前受金及び前受収益	35,923
3 繰延収益	280,006
(1) 長期前受金	1,032,642
(2) 長期前受金収益化累計額()	752,636
資本合計	3,703,729
1 資本金	2,816,580
2 剰余金	887,149
(1) 資本金剰余金	520,235
(2) 利益剰余金	366,914
負債・資本合計	15,602,970
不良債務	905,273
実質資金不足額	905,273
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	964,141	1,078,734
資本勘定繰入	425,998	975,998
計	1,390,139	2,054,732

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	905,273	8.5
令和元年度	1,504,187	13.6
平成30年度	1,213,498	12.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	905,273
健全化法上の資金不足比率(%)	8.4
地財法上の資金不足額(千円)	933,173
地財法上の資金不足比率(%)	8.7

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	高砂市				
病院名	高砂市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,705 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	199	61.0	49.2	46.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	61.0	49.2	46.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	17.9	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	87,722	
決算規模(千円)	56,432,739	
標準財政規模(千円)	21,245,173	
財政力指数	0.88	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	70.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.1
修正医業収益(千円)	3,442,828

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,780,000			
1 経常収益	4,668,031			
(1) 医業収益	3,617,828			
入院収益	1,962,836			
外来収益	1,366,794			
診療収入計	3,329,630			
その他医業収益	288,198			
(うち他会計負担金)	175,000			
(2) 医業外収益	1,050,203			
(うち国・都道府県補助金)	654,762			
(うち他会計補助・負担金)	144,497			
(うち長期前受金戻入)	229,851			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	111,969			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,809,081			
2 経常費用	4,706,242			
(1) 医業費用	4,523,561			
職員給与費	2,674,443	73.9	62.1	67.4
材料費	554,767	15.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	204,457	5.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	317,162	8.8	11.4	8.8
減価償却費	382,658	10.6	9.5	10.7
経費	902,758	25.0	22.7	29.2
(うち委託料)	519,573	14.4	12.6	13.9
研究研修費	8,915			
資産減耗費	20			
(2) 医業外費用	182,681			
(うち支払利息)	3,487	0.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	102,839			
損益				
経常損益	-38,211			
純損益	-29,081			
累積欠損金	7,932,389			
経常収支比率	99.2		101.9	100.3
医業収支比率	80.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	6.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	92.4		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,116,926
1 固定資産	5,566,044
(1) 有形固定資産	5,461,478
(2) 無形固定資産	1,000
(3) 投資その他の資産	103,566
2 流動資産	1,550,882
(1) 現金及び預金	776,800
(2) 未収金及び未収収益	764,557
(3) 貸倒引当金()	1,600
(4) 貯蔵品	11,125
3 繰延資産	-
負債合計	4,389,357
1 固定負債	1,986,446
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	555,696
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,397,609
(7) リース債務	33,141
2 流動負債	1,166,213
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	204,367
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	183,228
(6) リース債務	35,724
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	289,288
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,236,698
(1) 長期前受金	2,785,092
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,548,394
資本合計	2,727,569
1 資本金	10,659,958
2 剰余金	-7,932,389
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-7,932,389
負債・資本合計	7,116,926
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	319,497	319,497
資本勘定繰入	175,389	175,389
計	494,886	494,886

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	219.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	川西市				
病院名	川西病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,540 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	250	52.7	50.8	62.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	52.7	50.8	62.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	152,321	
決算規模(千円)	71,146,204	
標準財政規模(千円)	31,834,487	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	95.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	101.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.3
修正医業収益(千円)	8,923

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	894,274			
1 経常収益	890,778			
(1) 医業収益	158,923			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	158,923			
(うち他会計負担金)	150,000			
(2) 医業外収益	731,855			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	479,046			
(うち長期前受金戻入)	142,061			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,496			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	783,487			
2 経常費用	783,459			
(1) 医業費用	697,858			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	241,837	152.2	9.5	10.2
経費	440,165	277.0	22.7	28.2
(うち委託料)	13,888	8.7	12.6	13.6
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	15,856	-	-	-
(2) 医業外費用	85,601	-	-	-
(うち支払利息)	20,073	12.6	1.3	1.6
(3) 特別損失	28	-	-	-
損益				
経常損益	107,319			
純損益	110,787			
累積欠損金	4,710,707			
経常収支比率	113.7		101.9	99.9
医業収支比率	22.8		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	70.6		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	395.8		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	70.3		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	33.4		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,940,749
1 固定資産	10,703,528
(1) 有形固定資産	10,591,324
(2) 無形固定資産	67,209
(3) 投資その他の資産	44,995
2 流動資産	237,221
(1) 現金及び預金	34,168
(2) 未収金及び未収収益	205,010
(3) 貸倒引当金()	1,957
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	13,552,185
1 固定負債	11,968,217
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,251,051
(2) その他の企業債	63,480
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	192,700
(5) その他の長期借入金	2,400,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	796,906
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	244,309
(2) その他の企業債	31,740
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	119,850
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	787,062
(1) 長期前受金	4,709,002
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,921,940
資本合計	-2,611,436
1 資本金	110,184
2 剰余金	-2,721,620
(1) 資本金剰余金	1,989,087
(2) 利益剰余金	-4,710,707
負債・資本合計	10,940,749
不良債務	315,376
実質資金不足額	315,376
資金不足額()	2,611,436
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,824,374
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	236,747	629,046
資本勘定繰入	118,234	164,146
計	354,981	793,192

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	315,376	198.4
令和元年度	461,135	289.2
平成30年度	570,649	14.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2964.1
健全化法上の資金不足額(千円)	315,377
健全化法上の資金不足比率(%)	8.9
地財法上の資金不足額(千円)	378,857
地財法上の資金不足比率(%)	238.3

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	三田市				
病院名	三田市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,928 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	300	71.2	80.4	81.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	71.2	80.4	81.7
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.8	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	109,238	
決算規模(千円)	49,846,115	
標準財政規模(千円)	23,614,523	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.8
修正医業収益(千円)	7,136,936

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,220,547			
1 経常収益	10,015,458			
(1) 医業収益	7,494,719			
入院収益	5,119,247			
外来収益	1,850,627			
診療収入計	6,969,874			
その他医業収益	524,845			
(うち他会計負担金)	357,783			
(2) 医業外収益	2,520,739			
(うち国・都道府県補助金)	1,630,936			
(うち他会計補助・負担金)	619,689			
(うち長期前受金戻入)	172,798			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	205,089			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,961,175			
2 経常費用	8,777,534			
(1) 医業費用	8,316,434			
職員給与費	4,669,587	62.3	62.1	63.5
材料費	1,671,816	22.3	25.3	24.9
(うち薬品費)	560,536	7.5	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,054,818	14.1	11.4	11.8
減価償却費	406,498	5.4	9.5	10.0
経費	1,538,389	20.5	22.7	21.7
(うち委託料)	716,472	9.6	12.6	12.2
研究研修費	12,517			
資産減耗費	17,627			
(2) 医業外費用	461,100			
(うち支払利息)	155,997	2.1	1.3	1.4
(3) 特別損失	183,641			
損益				
経常損益	1,237,924			
純損益	1,259,372			
累積欠損金	310,991			
経常収支比率	114.1		101.9	101.7
医業収支比率	90.1		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	103.0		89.3	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,913,855
1 固定資産	9,541,518
(1) 有形固定資産	9,239,458
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	302,060
2 流動資産	2,372,337
(1) 現金及び預金	712,478
(2) 未収金及び未収収益	1,578,293
(3) 貸倒引当金()	4,709
(4) 貯蔵品	79,974
3 繰延資産	-
負債合計	9,032,770
1 固定負債	3,310,563
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,310,563
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,065,476
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,201,689
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	304,451
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	520,228
(9) 前受金及び前受収益	1,982
3 繰延収益	3,656,731
(1) 長期前受金	12,079,242
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,422,511
資本合計	2,881,085
1 資本金	793,700
2 剰余金	2,087,385
(1) 資本金剰余金	2,398,376
(2) 利益剰余金	-310,991
負債・資本合計	11,913,855
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	842,032	977,472
資本勘定繰入	721,409	721,409
計	1,563,441	1,698,881

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	加西市				
病院名	加西病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,166 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨感 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	193	94.0	70.5	74.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	51.1	0.1	-
計	199	92.7	68.9	72.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	15.3	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	42,700	
決算規模(千円)	30,582,516	
標準財政規模(千円)	11,932,625	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	46.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.7
修正医業収益(千円)	4,418,407

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,505,991			
1 経常収益	5,401,661			
(1) 医業収益	4,668,191			
入院収益	3,121,804			
外来収益	1,123,692			
診療収入計	4,245,496			
その他医業収益	422,695			
(うち他会計負担金)	249,784			
(2) 医業外収益	733,470			
(うち国・都道府県補助金)	250,483			
(うち他会計補助・負担金)	448,775			
(うち長期前受金戻入)	1,753			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	104,330			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,285,955			
2 経常費用	5,169,088			
(1) 医業費用	4,982,484			
職員給与費	2,894,239	62.0	62.1	67.4
材料費	797,644	17.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	283,130	6.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	467,328	10.0	11.4	8.8
減価償却費	235,424	5.0	9.5	10.7
経費	1,040,991	22.3	22.7	29.2
(うち委託料)	497,340	10.7	12.6	13.9
研究研修費	11,077			
資産減耗費	3,109			
(2) 医業外費用	186,604			
(うち支払利息)	31,527	0.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	116,867			
損益				
経常損益	232,573			
純損益	220,036			
累積欠損金	6,701,341			
経常収支比率	104.5		101.9	100.3
医業収支比率	93.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.9		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	91.0		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,665,574
1 固定資産	2,717,795
(1) 有形固定資産	2,675,104
(2) 無形固定資産	59
(3) 投資その他の資産	42,632
2 流動資産	947,779
(1) 現金及び預金	52,113
(2) 未収金及び未収収益	885,873
(3) 貸倒引当金()	2,027
(4) 貯蔵品	11,401
3 繰延資産	-
負債合計	4,336,468
1 固定負債	2,935,017
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,961,652
(2) その他の企業債	241,400
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	730,578
(7) リース債務	1,387
2 流動負債	1,293,425
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	336,947
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	199,015
(6) リース債務	876
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	336,068
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	108,026
(1) 長期前受金	223,215
(2) 長期前受金収益化累計額()	115,189
資本合計	-670,894
1 資本金	6,009,458
2 剰余金	-6,680,352
(1) 資本金剰余金	19,877
(2) 利益剰余金	-6,700,229
負債・資本合計	3,665,574
不良債務	8,699
実質資金不足額	8,699
資金不足額()	670,894
資本不足額(繰延収益控除後)()	562,868
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	698,559	698,559
資本勘定繰入	201,441	201,441
計	900,000	900,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	8,699	0.2
令和元年度	556,064	12.1
平成30年度	389,212	8.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	143.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	宍粟市				
病院名	公立宍粟総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,078 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	199	63.6	70.7	62.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	63.6	70.7	62.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	13.7	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	34,819	
決算規模(千円)	29,037,925	
標準財政規模(千円)	14,910,845	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	83.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.2
修正医業収益(千円)	3,438,522

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,579,549			
1 経常収益	4,501,504			
(1) 医業収益	3,529,774			
入院収益	2,150,265			
外来収益	1,172,214			
診療収入計	3,322,479			
その他医業収益	207,295			
(うち他会計負担金)	91,252			
(2) 医業外収益	971,730			
(うち国・都道府県補助金)	543,156			
(うち他会計補助・負担金)	277,986			
(うち長期前受金戻入)	117,282			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	78,045			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,086,077			
2 経常費用	4,009,849			
(1) 医業費用	3,854,247			
職員給与費	2,197,428	62.3	62.1	67.4
材料費	627,487	17.8	25.3	17.7
(うち薬品費)	244,956	6.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	342,643	9.7	11.4	8.8
減価償却費	199,072	5.6	9.5	10.7
経費	816,336	23.1	22.7	29.2
(うち委託料)	258,735	7.3	12.6	13.9
研究研修費	5,401			
資産減耗費	8,523			
(2) 医業外費用	155,602			
(うち支払利息)	35,506	1.0	1.3	1.5
(3) 特別損失	76,228			
損益				
経常損益	491,655			
純損益	493,472			
累積欠損金	-			
経常収支比率	112.3		101.9	100.3
医業収支比率	91.6		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	103.1		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,264,756
1 固定資産	3,419,288
(1) 有形固定資産	3,205,241
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	214,047
2 流動資産	845,468
(1) 現金及び預金	140,098
(2) 未収金及び未収収益	691,215
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	14,155
3 繰延資産	-
負債合計	2,939,711
1 固定負債	1,870,432
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,870,432
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	778,383
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	321,192
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	134,074
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	304,198
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	290,896
(1) 長期前受金	466,296
(2) 長期前受金収益化累計額()	175,400
資本合計	1,325,045
1 資本金	824,156
2 剰余金	500,889
(1) 資本金剰余金	20,757
(2) 利益剰余金	480,132
負債・資本合計	4,264,756
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	354,033	369,238
資本勘定繰入	189,146	202,785
計	543,179	572,023

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	59,482	1.6
平成30年度	207,209	6.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	加東市				
病院名	加東市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,954 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	16	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	139	67.3	78.8	79.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	139	67.3	78.8	79.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	19.3	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	40,645	
決算規模(千円)	24,261,519	
標準財政規模(千円)	12,043,003	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	88.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,502,536			
1 経常収益	2,402,651			
(1) 医業収益	1,768,877			
入院収益	1,165,479			
外来収益	367,686			
診療収入計	1,533,165			
その他医業収益	235,712			
(うち他会計負担金)	155,240			
(2) 医業外収益	633,774			
(うち国・都道府県補助金)	45,332			
(うち他会計補助・負担金)	232,572			
(うち長期前受金戻入)	342			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	99,885			
(うち他会計繰入金)	86,444			
総費用	2,607,303			
2 経常費用	2,591,451			
(1) 医業費用	2,148,553			
職員給与費	1,425,190	80.6	62.1	67.4
材料費	229,855	13.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	118,744	6.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	90,456	5.1	11.4	8.8
減価償却費	150,281	8.5	9.5	10.7
経費	337,983	19.1	22.7	29.2
(うち委託料)	197,653	11.2	12.6	13.9
研究研修費	3,065			
資産減耗費	2,179			
(2) 医業外費用	442,898			
(うち支払利息)	5,741	0.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	15,852			
損益				
経常損益	-188,800			
純損益	-104,767			
累積欠損金	2,023,745			
経常収支比率	92.7		101.9	100.3
医業収支比率	82.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	21.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	19.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	77.7		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,690,611
1 固定資産	1,763,703
(1) 有形固定資産	1,763,703
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	926,908
(1) 現金及び預金	643,111
(2) 未収金及び未収収益	267,434
(3) 貸倒引当金()	127
(4) 貯蔵品	16,340
3 繰延資産	-
負債合計	1,062,798
1 固定負債	633,973
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	346,522
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	214,307
(6) 引当金	-
(7) リース債務	73,144
2 流動負債	397,411
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	66,964
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	42,849
(5) 引当金	122,111
(6) リース債務	42,600
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	116,999
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	31,414
(1) 長期前受金	45,810
(2) 長期前受金収益化累計額()	14,396
資本合計	1,627,813
1 資本金	3,631,776
2 剰余金	-2,003,963
(1) 資本金剰余金	17,772
(2) 利益剰余金	-2,021,735
負債・資本合計	2,690,611
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.1
修正医業収益(千円)	1,613,637

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	367,978	474,256
資本勘定繰入	83,991	85,880
計	451,969	560,136

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	114.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		兵庫県	
市町村・組合名	たつの市		
病院名	市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	86.1	84.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	86.1	84.5
平均在院日数(一般病床のみ)		-	17.2	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	74,316	
決算規模(千円)	47,489,639	
標準財政規模(千円)	21,538,725	
財政力指数	0.56	
経常収支比率(%)	87.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	11.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,581			
1 経常収益	7,581			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	7,581			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,581			
2 経常費用	7,581			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	-	-	9.5	10.7
経費	-	-	22.7	29.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	7,581			
(うち支払利息)	7,581	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				兵庫県
市町村・組合名	神河町			
病院名	公立神崎総合病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	15,988 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	140	68.4	73.5	72.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	68.4	73.5	72.0
平均在院日数(一般病床のみ)		23.1	20.3	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	10,616	
決算規模(千円)	10,024,545	
標準財政規模(千円)	5,186,902	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.4
	将来負担比率(%)	73.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.5
修正医業収益(千円)	2,429,885

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,268,319			
1 経常収益	3,204,806			
(1) 医業収益	2,647,660			
入院収益	1,417,507			
外来収益	836,381			
診療収入計	2,253,888			
その他医業収益	393,772			
(うち他会計負担金)	217,775			
(2) 医業外収益	557,146			
(うち国・都道府県補助金)	245,810			
(うち他会計補助・負担金)	287,308			
(うち長期前受金戻入)	220			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	63,513			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,321,068			
2 経常費用	3,255,231			
(1) 医業費用	3,135,301			
職員給与費	2,015,821	76.1	62.1	67.4
材料費	322,377	12.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	79,160	3.0	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	217,997	8.2	11.4	8.8
減価償却費	356,091	13.4	9.5	10.7
経費	429,673	16.2	22.7	29.2
(うち委託料)	162,777	6.1	12.6	13.9
研究研修費	6,342			
資産減耗費	4,997			
(2) 医業外費用	119,930			
(うち支払利息)	31,616	1.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	65,837			
損益				
経常損益	-50,425			
純損益	-52,749			
累積欠損金	1,244,836			
経常収支比率	98.5		101.9	100.3
医業収支比率	84.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	15.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	19.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	82.9		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,969,577
1 固定資産	5,344,511
(1) 有形固定資産	5,140,601
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	203,910
2 流動資産	625,066
(1) 現金及び預金	210,509
(2) 未収金及び未収収益	393,584
(3) 貸倒引当金()	1,511
(4) 貯蔵品	22,483
3 繰延資産	-
負債合計	3,870,322
1 固定負債	3,327,242
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,077,242
(2) その他の企業債	250,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	526,724
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	264,613
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	96,217
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	148,161
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	16,356
(1) 長期前受金	42,390
(2) 長期前受金収益化累計額()	26,034
資本合計	2,099,255
1 資本金	3,344,091
2 剰余金	-1,244,836
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,244,836
負債・資本合計	5,969,577
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	752,317	505,083
資本勘定繰入	100,000	145,102
計	852,317	650,185

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	香美町				
病院名	公立香住病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,150 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	50	59.2	56.5	60.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	59.2	56.5	60.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	19.5	23.1

設立団体の状況		
人口(人)	16,064	
決算規模(千円)	17,230,571	
標準財政規模(千円)	8,506,747	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	86.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	59.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.4
修正医業収益(千円)	694,170

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,191,515			
1 経常収益	1,183,354			
(1) 医業収益	741,894			
入院収益	291,912			
外来収益	358,075			
診療収入計	649,987			
その他医業収益	91,907			
(うち他会計負担金)	47,724			
(2) 医業外収益	441,460			
(うち国・都道府県補助金)	10,181			
(うち他会計補助・負担金)	188,910			
(うち長期前受金戻入)	254			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,161			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,284,567			
2 経常費用	1,259,027			
(1) 医業費用	958,864			
職員給与費	610,818	82.3	62.1	78.9
材料費	95,363	12.9	25.3	15.6
(うち薬品費)	37,701	5.1	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	57,495	7.7	11.4	6.0
減価償却費	77,793	10.5	9.5	11.7
経費	164,127	22.1	22.7	31.2
(うち委託料)	90,881	12.2	12.6	14.3
研究研修費	1,049			
資産減耗費	9,714			
(2) 医業外費用	300,163			
(うち支払利息)	3,937	0.5	1.3	1.7
(3) 特別損失	25,540			
損益				
経常損益	-75,673			
純損益	-93,052			
累積欠損金	2,882,283			
経常収支比率	94.0		101.9	100.3
医業収支比率	77.4		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	20.0		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	31.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	19.9		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	75.2		89.3	76.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,766,738
1 固定資産	1,536,634
(1) 有形固定資産	1,489,756
(2) 無形固定資産	1,290
(3) 投資その他の資産	45,588
2 流動資産	230,104
(1) 現金及び預金	71,307
(2) 未収金及び未収収益	154,425
(3) 貸倒引当金()	125
(4) 貯蔵品	4,466
3 繰延資産	-
負債合計	742,153
1 固定負債	484,989
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	484,989
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	241,031
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,742
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	54,403
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	80,000
(8) 未払金及び未払費用	46,624
(9) 前受金及び前受収益	1,177
3 繰延収益	16,133
(1) 長期前受金	29,263
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,130
資本合計	1,024,585
1 資本金	3,887,668
2 剰余金	-2,863,083
(1) 資本金剰余金	19,200
(2) 利益剰余金	-2,882,283
負債・資本合計	1,766,738
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	148,165	236,634
資本勘定繰入	105,999	112,123
計	254,164	348,757

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	388.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	新温泉町				
病院名	浜坂病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,986 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	49	57.0	68.8	75.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	57.0	68.8	75.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	13.1	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	13,318	
決算規模(千円)	13,466,843	
標準財政規模(千円)	6,237,697	
財政力指数	0.25	
経常収支比率(%)	87.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.8
	将来負担比率(%)	89.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	57.8
修正医業収益(千円)	462,638

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,351,321			
1 経常収益	1,064,952			
(1) 医業収益	505,314			
入院収益	294,944			
外来収益	130,212			
診療収入計	425,156			
その他医業収益	80,158			
(うち他会計負担金)	42,676			
(2) 医業外収益	559,638			
(うち国・都道府県補助金)	212			
(うち他会計補助・負担金)	129,060			
(うち長期前受金戻入)	768			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	286,369			
(うち他会計繰入金)	200,328			
総費用	1,321,104			
2 経常費用	1,307,101			
(1) 医業費用	800,617			
職員給与費	457,226	90.5	62.1	89.0
材料費	64,209	12.7	25.3	14.0
(うち薬品費)	44,395	8.8	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,814	3.9	11.4	5.4
減価償却費	53,025	10.5	9.5	13.0
経費	223,231	44.2	22.7	47.1
(うち委託料)	69,736	13.8	12.6	22.5
研究研修費	1,211			
資産減耗費	1,715			
(2) 医業外費用	506,484			
(うち支払利息)	1,199	0.2	1.3	1.3
(3) 特別損失	14,003			
損益				
経常損益	-242,149			
純損益	30,217			
累積欠損金	3,978,987			
経常収支比率	81.5		101.9	98.5
医業収支比率	63.1		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	34.0		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	27.5		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	68.3		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,672,695
1 固定資産	1,175,545
(1) 有形固定資産	1,171,418
(2) 無形固定資産	1,176
(3) 投資その他の資産	2,951
2 流動資産	497,150
(1) 現金及び預金	329,223
(2) 未収金及び未収収益	159,833
(3) 貸倒引当金()	303
(4) 貯蔵品	8,397
3 繰延資産	-
負債合計	1,852,793
1 固定負債	1,414,051
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	544,714
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	452,100
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	417,237
(7) リース債務	-
2 流動負債	419,753
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	59,102
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	95,210
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	45,410
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	150,000
(8) 未払金及び未払費用	68,463
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	18,989
(1) 長期前受金	150,240
(2) 長期前受金収益化累計額()	131,251
資本合計	-180,098
1 資本金	3,713,748
2 剰余金	-3,893,846
(1) 資本剰余金	85,141
(2) 利益剰余金	-3,978,987
負債・資本合計	1,672,695
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	180,098
資本不足額(繰延収益控除後)()	161,109
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	171,736	372,064
資本勘定繰入	55,940	216,999
計	227,676	589,063

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	787.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	公立豊岡病院組合				
病院名	公立豊岡病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,303 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	463	79.2	89.2	88.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	51	45.9	55.4	60.9
感染症	4	35.0	-	-
計	518	75.6	85.2	84.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	14.4	14.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.1
修正医業収益(千円)	13,835,363

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,081,340			
1 経常収益	18,649,501			
(1) 医業収益	14,098,308			
入院収益	9,526,757			
外来収益	4,007,575			
診療収入計	13,534,332			
その他医業収益	563,976			
(うち他会計負担金)	262,945			
(2) 医業外収益	4,551,193			
(うち国・都道府県補助金)	2,086,638			
(うち他会計補助・負担金)	1,090,263			
(うち長期前受金戻入)	90,924			
(うち資本費繰入収益)	1,144,759			
(3) 特別利益	431,839			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,678,792			
2 経常費用	17,548,799			
(1) 医業費用	16,643,694			
職員給与費	8,668,355	61.5	62.1	55.8
材料費	4,290,074	30.4	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,040,654	14.5	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,166,805	15.4	11.4	13.0
減価償却費	1,414,871	10.0	9.5	8.7
経費	2,226,716	15.8	22.7	19.7
(うち委託料)	1,350,798	9.6	12.6	12.6
研究研修費	34,486			
資産減耗費	9,192			
(2) 医業外費用	905,105			
(うち支払利息)	182,887	1.3	1.3	1.2
(3) 特別損失	2,129,993			
損益				
経常損益	1,100,702			
純損益	-597,452			
累積欠損金	2,077,578			
経常収支比率	106.3		101.9	102.5
医業収支比率	84.7		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	9.6		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	7.1		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	98.6		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,777,995
1 固定資産	23,401,615
(1) 有形固定資産	21,856,850
(2) 無形固定資産	31,805
(3) 投資その他の資産	1,512,960
2 流動資産	4,376,380
(1) 現金及び預金	805,334
(2) 未収金及び未収収益	3,453,461
(3) 貸倒引当金()	1,665
(4) 貯蔵品	114,652
3 繰延資産	-
負債合計	31,221,166
1 固定負債	24,985,727
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,944,882
(2) その他の企業債	540,404
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	154,033
(6) 引当金	5,345,408
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,073,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,085,955
(2) その他の企業債	39,741
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	670,767
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,156,135
(9) 前受金及び前受収益	43,156
3 繰延収益	1,161,830
(1) 長期前受金	2,609,614
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,447,784
資本合計	-3,443,171
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-6,221,993
(1) 資本金剰余金	998,086
(2) 利益剰余金	-7,220,079
負債・資本合計	27,777,995
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	3,443,171
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,281,341
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,353,208	1,353,208
資本勘定繰入	1,274,307	1,274,307
計	2,627,515	2,627,515

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	246,154	1.4
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				兵庫県
市町村・組合名	公立豊岡病院組合			
病院名	公立豊岡病院日高医療センター			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	11,368 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	8	指定病院の状況		
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	63	43.7	48.0	41.3
療養	36	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	27.8	30.5	26.3
平均在院日数(一般病床のみ)		6.6	6.8	6.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,010,780			
1 経常収益	1,998,520			
(1) 医業収益	1,671,770			
入院収益	451,813			
外来収益	1,159,969			
診療収入計	1,611,782			
その他医業収益	59,988			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	326,750			
(うち国・都道府県補助金)	12,081			
(うち他会計補助・負担金)	183,670			
(うち長期前受金戻入)	905			
(うち資本費繰入収益)	75,294			
(3) 特別利益	12,260			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,291,481			
2 経常費用	2,036,541			
(1) 医業費用	1,905,184			
職員給与費	1,060,557	63.4	62.1	78.9
材料費	509,475	30.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	311,265	18.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	191,307	11.4	11.4	6.0
減価償却費	126,646	7.6	9.5	11.7
経費	203,099	12.1	22.7	31.2
(うち委託料)	97,884	5.9	12.6	14.3
研究研修費	4,782			
資産減耗費	625			
(2) 医業外費用	131,357			
(うち支払利息)	12,579	0.8	1.3	1.7
(3) 特別損失	254,940			
損益				
経常損益	-38,021			
純損益	-280,701			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.1		101.9	100.3
医業収支比率	87.7		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	11.0		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	9.1		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	89.1		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,777,995
1 固定資産	23,401,615
(1) 有形固定資産	21,856,850
(2) 無形固定資産	31,805
(3) 投資その他の資産	1,512,960
2 流動資産	4,376,380
(1) 現金及び預金	805,334
(2) 未収金及び未収収益	3,453,461
(3) 貸倒引当金()	1,665
(4) 貯蔵品	114,652
3 繰延資産	-
負債合計	31,221,166
1 固定負債	24,985,727
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,944,882
(2) その他の企業債	540,404
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	154,033
(6) 引当金	5,345,408
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,073,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,085,955
(2) その他の企業債	39,741
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	670,767
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,156,135
(9) 前受金及び前受収益	43,156
3 繰延収益	1,161,830
(1) 長期前受金	2,609,614
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,447,784
資本合計	-3,443,171
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-6,221,993
(1) 資本金剰余金	998,086
(2) 利益剰余金	-7,220,079
負債・資本合計	27,777,995
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	3,443,171
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,281,341
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.7
修正医業収益(千円)	1,671,770

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	183,670	183,670
資本勘定繰入	78,184	78,184
計	261,854	261,854

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	246,154	1.4
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	公立豊岡病院組合				
病院名	公立豊岡病院出石医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,574 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	55	49.6	54.2	54.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	49.6	54.2	54.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	16.1	16.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	63.1
修正医業収益(千円)	458,162

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	750,106			
1 経常収益	744,387			
(1) 医業収益	485,157			
入院収益	291,656			
外来収益	138,271			
診療収入計	429,927			
その他医業収益	55,230			
(うち他会計負担金)	26,995			
(2) 医業外収益	259,230			
(うち国・都道府県補助金)	26,509			
(うち他会計補助・負担金)	165,662			
(うち長期前受金戻入)	1,962			
(うち資本費繰入収益)	59,849			
(3) 特別利益	5,719			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	871,099			
2 経常費用	749,807			
(1) 医業費用	726,500			
職員給与費	546,005	112.5	62.1	78.9
材料費	58,694	12.1	25.3	15.6
(うち薬品費)	17,599	3.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,441	6.7	11.4	6.0
減価償却費	40,855	8.4	9.5	11.7
経費	78,614	16.2	22.7	31.2
(うち委託料)	33,297	6.9	12.6	14.3
研究研修費	1,538			
資産減耗費	794			
(2) 医業外費用	23,307			
(うち支払利息)	12,448	2.6	1.3	1.7
(3) 特別損失	121,292			
損益				
経常損益	-5,420			
純損益	-120,993			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.3		101.9	100.3
医業収支比率	66.8		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	25.9		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	39.7		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	25.7		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	73.6		89.3	76.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,777,995
1 固定資産	23,401,615
(1) 有形固定資産	21,856,850
(2) 無形固定資産	31,805
(3) 投資その他の資産	1,512,960
2 流動資産	4,376,380
(1) 現金及び預金	805,334
(2) 未収金及び未収収益	3,453,461
(3) 貸倒引当金()	1,665
(4) 貯蔵品	114,652
3 繰延資産	-
負債合計	31,221,166
1 固定負債	24,985,727
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,944,882
(2) その他の企業債	540,404
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	154,033
(6) 引当金	5,345,408
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,073,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,085,955
(2) その他の企業債	39,741
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	670,767
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,156,135
(9) 前受金及び前受収益	43,156
3 繰延収益	1,161,830
(1) 長期前受金	2,609,614
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,447,784
資本合計	-3,443,171
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-6,221,993
(1) 資本金剰余金	998,086
(2) 利益剰余金	-7,220,079
負債・資本合計	27,777,995
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	3,443,171
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,281,341
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	192,657	192,657
資本勘定繰入	60,373	60,373
計	253,030	253,030

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	246,154	1.4
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				兵庫県
市町村・組合名	公立豊岡病院組合			
病院名	公立朝来医療センター			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	13,699 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	11	指定病院の状況	救 輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	104	76.8	81.3	80.4
療養	46	3.4	28.8	27.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	54.3	65.2	64.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	19.1	17.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.2
修正医業収支(千円)	1,415,017

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,044,583			
1 経常収益	2,016,538			
(1) 医業収益	1,468,709			
入院収益	967,154			
外来収益	403,932			
診療収入計	1,371,086			
その他医業収益	97,623			
(うち他会計負担金)	53,692			
(2) 医業外収益	547,829			
(うち国・都道府県補助金)	219,272			
(うち他会計補助・負担金)	116,502			
(うち長期前受金戻入)	2,995			
(うち資本費繰入収益)	198,504			
(3) 特別利益	28,045			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,553,174			
2 経常費用	2,226,423			
(1) 医業費用	2,137,420			
職員給与費	1,258,229	85.7	62.1	67.4
材料費	194,538	13.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	67,284	4.6	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	105,493	7.2	11.4	8.8
減価償却費	324,847	22.1	9.5	10.7
経費	356,616	24.3	22.7	29.2
(うち委託料)	227,228	15.5	12.6	13.9
研究研修費	3,087			
資産減耗費	103			
(2) 医業外費用	89,003			
(うち支払利息)	39,300	2.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	326,751			
損益				
経常損益	-209,885			
純損益	-508,591			
累積欠損金	8,976,383			
経常収支比率	90.6		101.9	100.3
医業収支比率	68.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	82.9		89.3	84.8

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,777,995
1 固定資産	23,401,615
(1) 有形固定資産	21,856,850
(2) 無形固定資産	31,805
(3) 投資その他の資産	1,512,960
2 流動資産	4,376,380
(1) 現金及び預金	805,334
(2) 未収金及び未収収益	3,453,461
(3) 貸倒引当金()	1,665
(4) 貯蔵品	114,652
3 繰延資産	-
負債合計	31,221,166
1 固定負債	24,985,727
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,944,882
(2) その他の企業債	540,404
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	154,033
(6) 引当金	5,345,408
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,073,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,085,955
(2) その他の企業債	39,741
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	670,767
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,156,135
(9) 前受金及び前受収益	43,156
3 繰延収益	1,161,830
(1) 長期前受金	2,609,614
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,447,784
資本合計	-3,443,171
1 資本金	2,778,822
2 剰余金	-6,221,993
(1) 資本金剰余金	998,086
(2) 利益剰余金	-7,220,079
負債・資本合計	27,777,995
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	3,443,171
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,281,341
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	170,194	170,194
資本勘定繰入	204,922	204,922
計	375,116	375,116

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	246,154	1.4
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	公立八鹿病院組合				
病院名	公立八鹿病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	35,498 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	338	69.9	72.0	65.7
療養	35	76.9	83.8	64.3
結核	7	15.1	6.5	11.0
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	69.6	71.9	64.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	19.1	19.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.4
修正医業収益(千円)	5,770,590

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,241,063			
1 経常収益	8,093,729			
(1) 医業収益	5,879,589			
入院収益	4,146,503			
外来収益	1,386,154			
診療収入計	5,532,657			
その他医業収益	346,932			
(うち他会計負担金)	108,999			
(2) 医業外収益	2,214,140			
(うち国・都道府県補助金)	103,138			
(うち他会計補助・負担金)	382,304			
(うち長期前受金戻入)	627,570			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	147,334			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,593,515			
2 経常費用	8,445,043			
(1) 医業費用	7,000,459			
職員給与費	4,095,693	69.7	62.1	63.5
材料費	880,423	15.0	25.3	24.9
(うち薬品費)	380,043	6.5	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	429,776	7.3	11.4	11.8
減価償却費	707,427	12.0	9.5	10.0
経費	1,234,200	21.0	22.7	21.7
(うち委託料)	524,375	8.9	12.6	12.2
研究研修費	8,095			
資産減耗費	74,621			
(2) 医業外費用	1,444,584			
(うち支払利息)	120,425	2.0	1.3	1.4
(3) 特別損失	148,472			
損益				
経常損益	-351,314			
純損益	-352,452			
累積欠損金	2,136,417			
経常収支比率	95.8		101.9	101.7
医業収支比率	84.0		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.4		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	6.0		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	90.0		89.3	90.0

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,701,275
1 固定資産	15,109,182
(1) 有形固定資産	12,925,813
(2) 無形固定資産	3,984
(3) 投資その他の資産	2,179,385
2 流動資産	2,592,093
(1) 現金及び預金	1,333,445
(2) 未収金及び未収収益	1,161,110
(3) 貸倒引当金()	3,727
(4) 貯蔵品	85,569
3 繰延資産	-
負債合計	11,987,900
1 固定負債	8,615,584
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,492,953
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,119,855
(7) リース債務	2,776
2 流動負債	2,057,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	839,746
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	662,983
(6) リース債務	3,983
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	477,603
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,314,787
(1) 長期前受金	5,308,767
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,993,980
資本合計	5,713,375
1 資本金	7,747,218
2 剰余金	-2,033,843
(1) 資本金剰余金	1,846
(2) 利益剰余金	-2,035,689
負債・資本合計	17,701,275
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	541,829	491,303
資本勘定繰入	532,168	1,110,555
計	1,073,997	1,601,858

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				兵庫県
市町村・組合名	公立八鹿病院組合			
病院名	公立村岡病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当	
建物面積	2,995 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	6	指定病院の状況	臨	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	42	53.8	54.2	52.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	53.8	54.2	52.4
平均在院日数(一般病床のみ)		7.5	6.3	6.6

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.1
修正医業収益(千円)	447,177

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	637,356			
1 経常収益	634,953			
(1) 医業収益	447,177			
入院収益	255,113			
外来収益	181,485			
診療収入計	436,598			
その他医業収益	10,579			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	187,776			
(うち国・都道府県補助金)	8,692			
(うち他会計補助・負担金)	118,319			
(うち長期前受金戻入)	8,550			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,403			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	610,123			
2 経常費用	607,628			
(1) 医業費用	551,308			
職員給与費	353,938	79.1	62.1	89.0
材料費	91,773	20.5	25.3	14.0
(うち薬品費)	63,126	14.1	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,147	4.3	11.4	5.4
減価償却費	27,894	6.2	9.5	13.0
経費	76,599	17.1	22.7	47.1
(うち委託料)	48,148	10.8	12.6	22.5
研究研修費	871			
資産減耗費	233			
(2) 医業外費用	56,320			
(うち支払利息)	305	0.1	1.3	1.3
(3) 特別損失	2,495			
損益				
経常損益	27,325			
純損益	27,233			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.5		101.9	98.5
医業収支比率	81.1		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	18.6		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	26.5		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	18.6		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	85.0		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,701,275
1 固定資産	15,109,182
(1) 有形固定資産	12,925,813
(2) 無形固定資産	3,984
(3) 投資その他の資産	2,179,385
2 流動資産	2,592,093
(1) 現金及び預金	1,333,445
(2) 未収金及び未収収益	1,161,110
(3) 貸倒引当金()	3,727
(4) 貯蔵品	85,569
3 繰延資産	-
負債合計	11,987,900
1 固定負債	8,615,584
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,492,953
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,119,855
(7) リース債務	2,776
2 流動負債	2,057,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	839,746
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	662,983
(6) リース債務	3,983
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	477,603
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,314,787
(1) 長期前受金	5,308,767
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,993,980
資本合計	5,713,375
1 資本金	7,747,218
2 剰余金	-2,033,843
(1) 資本金剰余金	1,846
(2) 利益剰余金	-2,035,689
負債・資本合計	17,701,275
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	119,318	118,319
資本勘定繰入	6,922	6,922
計	126,240	125,241

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				兵庫県	
市町村・組合名	北播磨総合医療センター企業団				
病院名	北播磨総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	38,109 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	450	77.6	84.8	88.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	77.6	84.8	88.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	11.7	12.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.1
修正医業収益(千円)	14,649,649

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,207,800			
1 経常収益	16,856,754			
(1) 医業収益	14,983,420			
入院収益	10,065,004			
外来収益	4,263,545			
診療収入計	14,328,549			
その他医業収益	654,871			
(うち他会計負担金)	333,771			
(2) 医業外収益	1,873,334			
(うち国・都道府県補助金)	94,283			
(うち他会計補助・負担金)	1,213,363			
(うち長期前受金戻入)	387,051			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	351,046			
(うち他会計繰入金)	40,000			
総費用	17,659,575			
2 経常費用	17,324,191			
(1) 医業費用	16,433,498			
職員給与費	8,250,471	55.1	62.1	59.8
材料費	4,667,001	31.1	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,833,417	12.2	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,747,540	18.3	11.4	12.4
減価償却費	1,120,107	7.5	9.5	8.2
経費	2,254,459	15.0	22.7	19.2
(うち委託料)	1,621,538	10.8	12.6	10.2
研究研修費	43,646			
資産減耗費	97,814			
(2) 医業外費用	890,693			
(うち支払利息)	114,053	0.8	1.3	1.2
(3) 特別損失	335,384			
損益				
経常損益	-467,437			
純損益	-451,775			
累積欠損金	497,455			
経常収支比率	97.3		101.9	103.7
医業収支比率	91.2		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	88.4		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,383,068
1 固定資産	16,340,033
(1) 有形固定資産	12,437,413
(2) 無形固定資産	1,208,923
(3) 投資その他の資産	2,693,697
2 流動資産	5,043,035
(1) 現金及び預金	2,437,616
(2) 未収金及び未収収益	2,499,371
(3) 貸倒引当金()	5,210
(4) 貯蔵品	107,229
3 繰延資産	-
負債合計	20,975,013
1 固定負債	12,198,982
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,259,593
(2) その他の企業債	100,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,839,389
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,749,884
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	967,809
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	458,842
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,623,123
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,026,147
(1) 長期前受金	7,479,824
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,453,677
資本合計	408,055
1 資本金	428,388
2 剰余金	-20,333
(1) 資本金剰余金	477,122
(2) 利益剰余金	-497,455
負債・資本合計	21,383,068
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,585,193	1,587,134
資本勘定繰入	350,874	12,866
計	1,936,067	1,600,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。